

れんけい ニュース



2008. SPRING

CONTENTS

- 脳神経外科紹介 ②
- 当院の服薬指導内容について ③
- 地域医療連携室よりご案内 ④
(外来担当医のご紹介)
- ほっとタイム ④

地域医療連携室と“れんけいニュース”のお問い合わせ先…
秋■県山利本荘市川口字家後38番地

山利組合総合病院 [地域医療連携室]

TEL.0184-27-1293 FAX.0184-27-1318

～ 脳神経外科紹介 ～

脳神経外科

副院長 菊地 顕次



当院に脳神経外科がはじめて開設されたのは37年前の昭和46年のことで、その後進藤健次郎先生（現医師会病院副院長）が昭和49年11月に脳神経外科科長として正式に赴任されてほぼ現在の体制が整いました。その間、以前は東北大学から、現在は秋田大学から若い優秀な先生方を交替で派遣していただき、診療体制を維持してきました。現在のスタッフは、菊地顕次、須藤良孝、塚久法の3名で、当地域の高齢化にともなって最近とくに増加している、主として脳卒中の患者さんを相手に奮闘しています。

秋田県はかつて本一の脳卒中・高血圧県といわれ、現在でも依然として全日本有数の脳卒中多発県であることに変わりはなく、当院はその中でもとくに脳卒中多発地帯といわれる利本荘地域にあって、その中核病院として脳卒中患者さんが移送・収容されやすい状況にあり、したがって当科で入院治療の対象としている大部分の方々は脳卒中の患者さんです。脳卒中とは、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の3つを指しますが、年間約400名の脳卒中患者さんのうち脳出血約80名、くも膜下出血約40名を当科で担当しており、一方脳梗塞の患者さんは内科や循環器科で治療されることが多いのですが、若年者の場合などは脳神経外科的な立場から治療が必要になる場合もあります。

その中で脳神経外科として最も重要なのがくも膜下出血です。脳の血管の一部が小さな風船玉のようにふくれて「脳動脈瘤」を形成し、これがやがて破裂して瞬時にくも膜下出血をひきおこすわけです。一般的な治療法は手術で頭を開けて瘤をクリップでつぶす方法ですが、高齢者や状態の悪い患者さんには負担や危険の多い方法でもあります。そこで頭を開けるかわりに、脳の血管の中に非常に細くて軟らかいカテーテルという管を送り込み、風船玉状の瘤の内部をこの管で充満させて詰めてしまおうという方法があります。患者さんにとっては負担の少ない方法ですが、非常に高度な技術が必要です。当科の須藤良孝医師はこの方面の認定専門医であり、好成績をあげています。秋田県内の他の施設ではあまり行われていないのが現状ですが、現在世界的にも急速に普及しつつある治療法であり、患者さんにとって治療の選択の幅が広がることでもあり、今後ともこの最新の血管内治療を通して当地域の患者さんのために貢献していきたいと考えています。

また、車同士の交通事故や雪おろしの際の屋根からの転落事故などで頭を打撲する患者さんも非常に多く、すべて当科で治療することになります。打撲が原因で頭の中に血のかたまり（「頭蓋内血腫」）ができ、そのために意識が低下したり、手足に麻痺がでたりした場合には緊急の手術が必要です。さらに少数ではありますが、頭の中にできものができる『脳腫瘍』の患者さんもいて、いずれも命に直結する病気ですので迅速で適切な判断・治療が求められます。少人数の脳神経外科医でこれだけの患者さんに昼となく夜となく対応せざるを得ないわけですが、地域唯一の脳神経外科施設としての責任と誇りをもって今後とも真摯に診療を継続していきたいと考えています。



一方外来においては、入院治療によって復し退院した脳卒中の患者さんを中心に診療を行っていますが、再発（あたりなおし）を起こさないように主として血圧の管理を中心にきめの細かい指導・経過観察を行っています。またもう一つ重要な外来の機能として「頭痛外来」があります。頭痛を経験したことがない人はいないくらいに頭痛はごくありふれた訴えであり、ともすると「たかが頭痛くらい」と軽く見られがちであったり、「頭痛くらいで休むのか」といった風潮があることも事実です。しかし命にかかわる脳卒中、とりわけ「くも膜下出血」に結びつく恐れもあり、また激しい頭痛のために仕事や勉強など通常の活動が著しく制限される若い女性の方の「片頭痛」など、しっかりと識別診断して正しく治療されなければなりません。頭痛もちの方は決して我慢などなせずに、気軽に当科を受診してください。

このように脳神経外科診療の範囲は多岐にわたり、しかも専門性の非常に高い分野ですが、地域の中核病院としての役割を十分に自覚し、地域の皆様に信頼され選ばれる病院・脳神経外科を目指しながら、その上でさらに高いレベルの診療が行えるように、今後とも一層研鑽を積んで参りたいと考えています。

～ 当院の服薬指導内容について～

薬剤科
森川 和夫

当院では、入院患者さんを対象に主治医の依頼で薬剤師がベットサイドへ行き、お薬の説明書をお渡しし服薬指導を行っています。服薬指導は、薬物治療の効果を上げるために、患者さんまたは家族にどうしてその薬が必要なのか、その病気に対してその薬がどのように作用するのか、服用・使用方法、注意点等を説明し、処方された薬の必要性を認識して頂き、適正かつ安全に安心して使

用して頂くことを目的に行っています。また、薬についてのご質問を受け、それに答えることも重要な服薬指導の一つですので、疑問、不安などがある時には、お気軽に薬剤師にお尋ね下さい。

また、消化器科で行っている「糖尿病教室」でも薬剤師が薬の説明をする時間がありますので、お気軽にご参加下さい。

☆ 由利 太郎 様のお薬の説明書です☆ 男性

種の病類、診療所にかかるとき、または薬局でお薬をお求めになるときはこの用紙を見せて下さい。

ID No 受付番号 作成日 2008年1月30日 消化器科

1. ノボラビッド注300フレックスペン

起床	朝	昼	夕	寝前
	6		6	

1日2回朝食直前

薬の作用
血糖を下げるホルモンであるインスリンの製剤で、効果がとても速く現れるタイプの注射薬です。

注意事項
●通常食直前（食事前15分以内）に使用します。皮下注射のみにお使い下さい。腹部、太もも、上腕、など注射部位を決めて、同一部位の中でも毎日場所を少しずつ変えて下さい。低血糖に十分ご注意ください。凍結を避け、冷所に保存して下さい。

記号

2. アマリール1mg錠(淡紅)

起床	朝	昼	夕	寝前
	1			

1日1回朝食前

薬の作用
血糖を下げるお薬で、膵臓に働いてインスリンの分泌を促すとともに、インスリンの感受性を高めます。

注意事項
●血糖が下がると強い空腹感、脱力感、意識を失うこともあります。これらの対策に糖分を携帯して下さい。

記号 HIKMK/NMK11mg

3. コニール錠4(黄)

起床	朝	昼	夕	寝前
	1			

1日1回朝食後

薬の作用
血管を拡張、血圧を下げるお薬です。

注意事項
●めまいなどがおこることがありますので、車の運転や機械の操作をするときには注意して下さい。グレープフルーツジュースにより作用が強くなる場合があります。

記号 KH209/KH2094mg

4. センナリド錠(淡赤)

起床	朝	昼	夕	寝前
				2

1日1回ねる前

薬の作用
便秘に用いる下剤です。

注意事項
●汗や尿が黄褐色または赤色にかわることがあります。

記号 SEN

患者さんへ
何か異常がありましたら、医師、薬剤師にご連絡下さい。

お薬は直射日光、熱、湿気をさけて保存して下さい。
薬剤師 由利組合総合病院
〒015-0511 由利本荘市川口宇家後38
TEL 0184-27-1200

◆上記の薬の作用は一般的のものであって、症状によっては異なる使われ方もあります。



外来担当医のご紹介

(平成20年3月1日現在)

診療科	月	火	水	木	金	土	受付時間
内科	西成	川辺	西成	西成	西成	西成/藤原	6:30~11:30
	奥山慎	奥山俊	奥山慎	藤原	奥山慎	牧	～
	西村/藤原	黒木	西村/川辺	西村	黒木	西村/川辺	～
	朝倉	朝倉	黒木	朝倉	朝倉	黒木/奥山慎	～
呼吸器科	矢崎	矢崎/鹿島	矢崎	矢崎	矢崎	矢崎	～
	鹿島	秋■大学	鹿島	鹿島	鹿島	鹿島	～
循環器科	木村	木村	木村	五十嵐	木村	木村	～
	中西	中西	中西	中西	中西	五十嵐	～
	千葉	五十嵐	千葉	千葉	千葉	千葉	～
消化器科	山■	三浦	山■	佐藤	三浦	三浦	[再来] ～
	三浦	東北大学	三浦	真坂	東北大学	真坂	[新患] ～
		山■		山■		山■	糖尿病クリニック
外科	海法	平野	海法	福島	橋本		6:30~11:30
	平宇	菅原	橋本	中川	平野		～
	担当医	担当医	担当医	戸沢	担当医	担当医	～
泌尿器科	北島	成■	北島	北島	阿部	阿部	6:30~11:30
	阿部	北島	阿部	成■	成■		～
歯科■腔外科	笠井	笠井	笠井	笠井	笠井	笠井	予約制
	西川	西川	西川	西川	西川	西川	予約制
整形外科	菊池	菊池	長谷川	菊池	菊池	熊谷	6:30~11:30
	長谷川	熊谷	熊谷	佐々木	長谷川	佐々木	～
	松浦	松浦	齊藤	松浦	佐々木	松浦	～
	齊藤	佐々木	松浦	熊谷	齊藤	齊藤	～
脳神経外科	菊地	菊地	菊地	須■	菊地	菊地	～
心臓血管外科	松川	嵩■	休診	嵩■	嵩■	嵩■	～
放射線科	斎藤	斎藤	斎藤	斎藤	斎藤	斎藤	6:30~13:30
小児科	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	6:30~11:30
	平山	平山	平山	平山	平山	平山	～
産婦人科	軽部	斎藤	軽部	軽部	金森勝	予約のみ	
	金森恭	金森恭	金森勝	斎藤	金森恭	予約のみ	
	斎藤	金森勝	斎藤	金森恭	軽部	予約のみ	(妊婦再来)
皮膚科	勝■	勝■	休診	勝■	勝■	小松	6:30~11:00
眼科	秋■大学	休診	秋■大学	休診	秋■大学	休診	11:30~15:00
耳鼻咽喉科	山■	山■	山■	山■	金	山■/金	6:30~11:30
	金	金	金	金			～
精神科	秋■大学	秋■大学	曾我	早川	秋■大学	休診	6:30~11:30
	秋■大学	秋■大学	秋■大学	秋■大学	秋■大学	休診	～
麻酔科	山崎		山崎		山崎		6:30~11:30

TEL.0184-27-1293 FAX.0184-27-1318



ほっとタイム

今年の冬は(雪は!?) 本当に長かった!!
でももうすぐ4月。雪解けとともに当院も新しいスタッフを大勢迎え、新しい体制でスタートいたします。
次号では皆様へ新しい体制のご紹介ができる

と思います。

診療報酬改定、出会い・別れ・新たな旅立ち、いろいろなことがある3月・4月です。お体に気をつけてがんばってください。

今後とも“れんけいニュース”をよろしく!!

さ